

(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す (は上方に変更、 は下方に変更)。

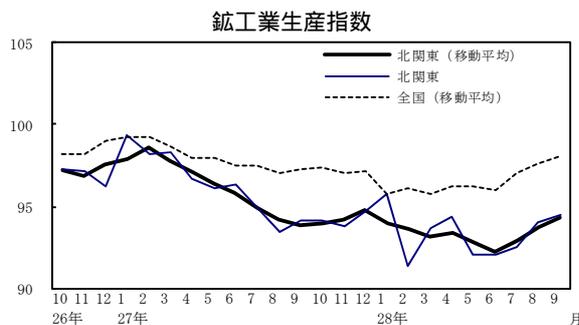
前回調査からの主要変更点

	前回 (平成 28 年 8 月)	今回 (平成 28 年 11 月)	
鉱工業生産	弱含み	おおむね横ばい	
個人消費	持ち直しの動き	持ち直しの動きが続いているものの、足踏み	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産はおおむね横ばいとなっている。

石油・石炭製品、化学、プラ製品は化粧品等を中心に増加した。電子デバ、電気・情報通信も増加した。輸送機械も好調な北米向け輸出等を背景に増加した。汎・生産・業務用機械工業も増加した。鉄鋼業、非鉄金属、金属製品も増加した。



- (備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
 2. 全国及び北関東の太線は中心3か月移動平均。直近月は2か月平均。
 3. 北関東は内閣府にて算出。

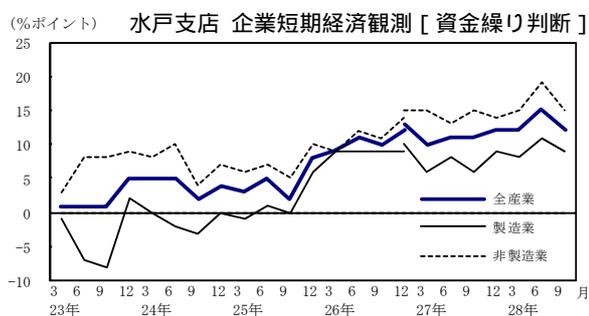
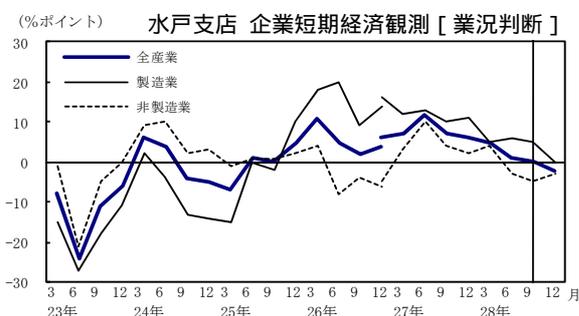
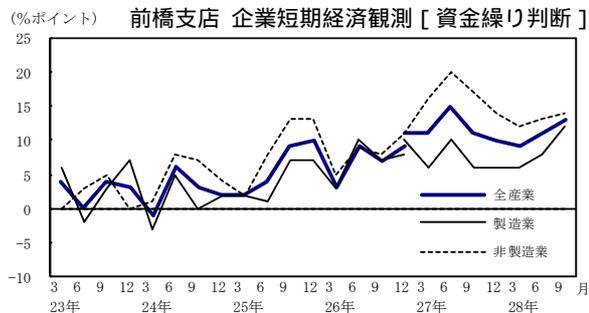
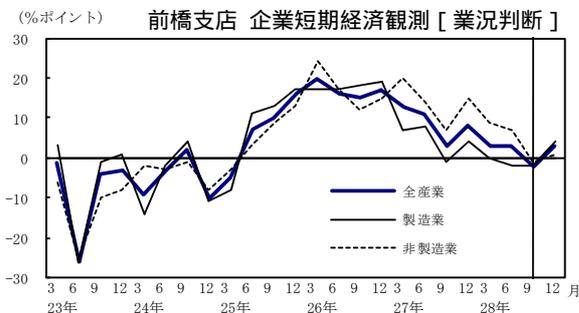
域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比) (%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		4~6 月期	7~9 月期	7月	8月	9月
石油・石炭、化学、プラ製品	19.7	▲1.2	0.6	1.4	1.3	▲3.0
電子デバ、電気・情報通信	19.5	▲1.5	2.7	▲0.1	6.7	▲3.8
輸送機械	18.4	1.4	0.1	▲0.7	0.2	4.9
汎・生産・業務用機械	16.0	▲2.3	0.9	1.0	1.7	3.8
鉄鋼業、非鉄金属、金属製品	12.9	▲0.3	0.4	0.1	0.8	▲1.8
鉱工業	100.0	▲0.9	0.9	0.4	1.6	0.5

- (備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。
 2. 7~9月期、9月は速報値。速報値において化学は医薬品を除いたもの。

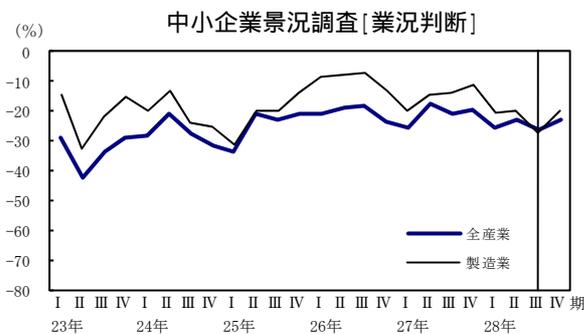
(2) 前橋支店の企業動向の業況判断は「悪い」超に転じており、資金繰り判断は「楽である」超幅が拡大している。
水戸支店の企業動向の業況判断は「良い」と「悪い」とが同数となっており、資金繰り判断は「楽である」超幅が縮小している。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査



(備考) 「良い」 - 「悪い」 回答者数構成比。28年12月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。

(備考) 「楽である」 - 「苦しい」 回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。



(備考) 「好転」 - 「悪化」 回答者数構成比。28年IVは見通し。

景気ウォッチャー調査 (10月調査結果) [企業動向関連 (現状)]

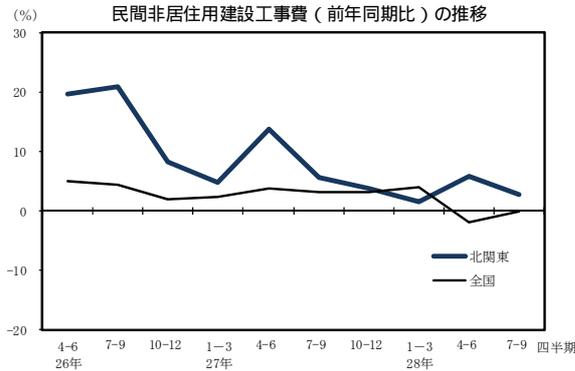
「10月に入り、遅れていたクリスマスセールの発注がやってくるようになったものの、注文数の減少や納期、価格共に厳しくなっている。広告品は売れるが、通常品は売れない (その他製造業 [宝石・貴金属])」等の回答がみられた。

(3) 北関東

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は増加している。

企業短期経済観測調査 [設備投資(9月調査)]

(前年度比、%)



	27年度実績	28年度計画
全産業		
前橋支店	▲2.4	7.8 (▲2.0)
水戸事務所	2.8	17.7 (▲6.0)
製造業		
前橋支店	1.6	21.1 (▲3.7)
水戸事務所	4.2	35.2 (▲6.1)
非製造業		
前橋支店	▲11.4	▲25.8 (5.6)
水戸事務所	1.5	0.4 (▲5.9)

(備考) ()は前回(6月)調査比修正率。

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きが続いているものの、足踏みがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

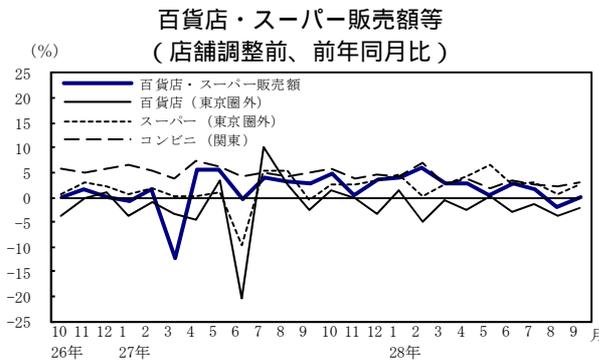
7月は前月比0.1%増、8月は同0.6%減、9月は同0.5%増となった。

百貨店・スーパー販売額

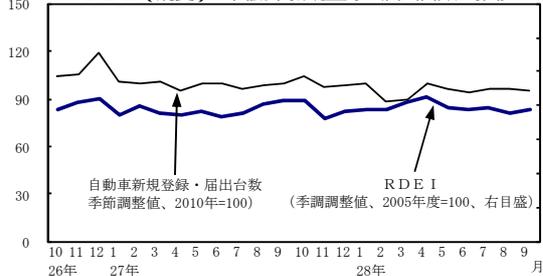
百貨店は、7月は夏物の衣料品や、飲食料品の動き等が鈍かったこと等から、前年を下回った。8月は天候不順などから衣料品、身の回り品、飲食料品の動き等が不調だったこと等から、前年を下回った。9月も衣料品、家庭用品の動き等が不調だったこと等から、前年を下回った。スーパーも、衣料品や身の回り品、家庭用品の動き等が不調だったことから、前年を下回った。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[家計動向関連(現状)]

「今年は天候不順の影響で紅葉の色付きが悪く、またカレンダーの曜日の並びが良くなかったこともあり、国内観光客の出足は鈍い。インバウンドのツアーは比較的好調である(観光名所)」等「変わらない」とする回答が増加した。



RDEI (消費)と自動車新規登録・届出台数の推移



	28年7-9月	28年7月	8月	9月
RDEI (消費*1)	▲0.8	0.1	▲0.6	0.5
百貨店・スーパー(*2)	▲0.0	1.7	▲1.9	0.1
百貨店(*3)	▲3.3	▲0.1	▲7.1	▲3.5
スーパー(*3)	0.0	1.7	▲0.8	▲0.8
コンビニ(*3)	2.4	2.5	2.0	2.8
乗用車(*4)	▲2.5	▲3.5	1.0	▲3.9
(季節調整値)(*4)	▲0.6	2.7	0.4	▲1.7

(備考) 1. 季節調整済前期(月)比 (%)

2. 店舗調整前、前年同(月)期比
百貨店・スーパーは内閣府にて算出。

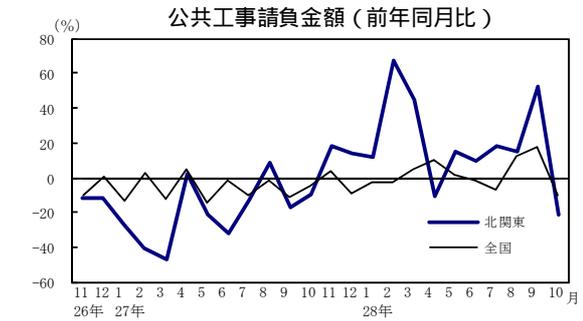
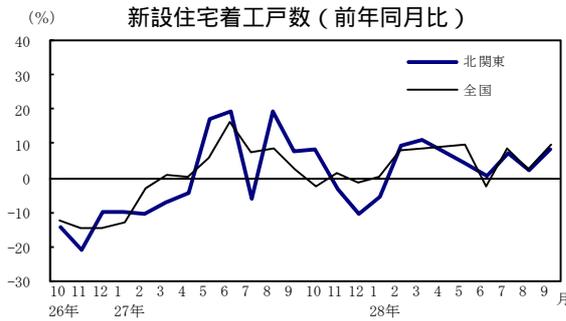
3. 店舗調整前、前年同(月)期比
・百貨店、スーパーは、関東経済産業局の東京圏外(茨城、栃木、群馬、新潟、山梨、長野、静岡)の値。
・コンビニは、経済産業省の関東(茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)の値。

4. 乗用車は、新規登録・届出台数(上段は前年同期(月)比 (%))

(2) 住宅建設は増加している。

貸家が前年を上回ったことから、全体では増加している。

(3) 公共投資は28年度累計でみると前年度を上回っている。

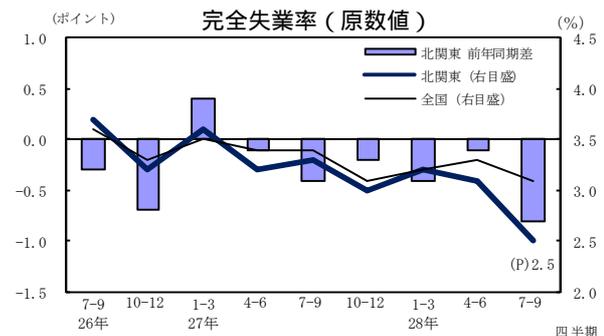
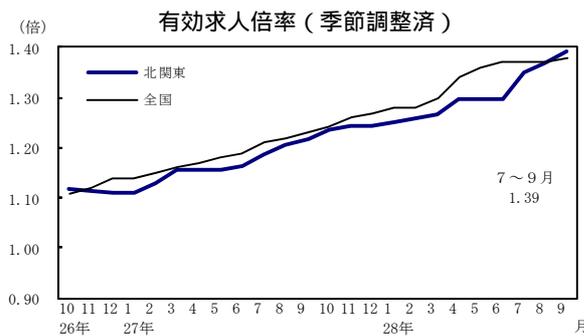


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を上回っている。



(備考) 1. 北関東は内閣府にて算出。
2. 7-9月期の値は暫定値。

景気ウォッチャー調査(10月調査結果)[雇用関連(現状)]

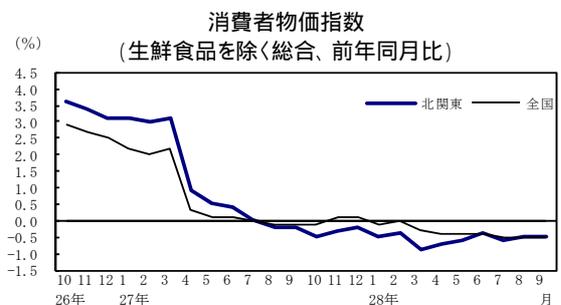
「繁忙、繁閑にかかわらず、採用意欲は高い。オーダーがなくても良い人材であれば、ある程度話を聞いてくれる企業が多くなっている(人材派遣会社)」等の回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数、負債総額ともに減少している。

(3) 消費者物価指数は、前年比の下落幅がおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	27年10-12月	28年1-3月	4-6月	7-9月	28年10月
倒産件数 (前年比)	84 ▲20.8	98 ▲13.3	93 14.8	77 ▲22.2	31 3.3
負債総額 (前年比)	95 ▲43.2	224 ▲45.6	205 65.9	121 ▲38.1	54 115.9



(備考) 北関東は内閣府にて算出。

(3) 北関東

景気ウォッチャー調査 (10月調査結果) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

- ・例年10月は繁忙月だが、今年はインバウンドも含めた団体客が非常に多い。またインターネット予約も好調で、近年まれにみる状況となっている (都市型ホテル)。

<先行き>

- ・下期事業の見積依頼さえ皆無で、来月、同業数社が解散する (通信会社)。

